

杉並区との協働により完成！ 支えあいから生まれる地域社会を目指す冊子 「ピアサポート交流会のつくり方」無料配布

～ 重症心身障害児・医療的ケア児の家族の孤立をフォローする仕組み～

特定非営利活動法人みかんぐみ(東京都杉並区、代表理事:村一浩)は、重症心身障害児・医療的ケア児の家族をはじめ、社会的に支援が必要とされる方たちを行政と当事者団体が協働でフォローする仕組みをまとめた「ピアサポート交流会のつくり方」を作成し、ご希望の皆様無料配布いたします。

【URL】<https://mikangumi.com/2021/12/16/1933/>



ピアサポートとは

「ピア(peer)はもともと「等しい」「似た」という意味を持つラテン語由来の言葉で、日本語では「仲間」や「同輩」などと訳されます。ピアサポートとは、共通項を持ち、対等な関係同士の支え合いを示す言葉で、お互いの経験を伝え合ったり、気持ちを分かち合うことなどを指します。

「ピアサポート交流会のつくり方」の3つの特徴

1. 行政と当事者団体が共に取り組んだ仕組みづくりの方法がわかる
2. 単なるハウツー本ではなく、その過程で見えてきた関係者の気持ちの変化も公開
3. よりよい地域社会にむけて、想いをぶつけた行政と当事者の座談会の様子も掲載



「ピアサポート交流会のつくり方」誕生の背景

地域に増加する重症心身障害児や医療的ケア児の家族サポートを模索していた地域保健師。社会とのつながりが薄い未就学時代に孤立感を解消することは、その後の本人・家族の希望につながることを体感していた当事者団体みかんぐみ。地域の対象者を取り残すことなく、当事者目線に立った心に寄り添ったサポートを一緒に作りたいという想いが一致し、杉並区の「協働提案事業」の採択を受け事業化が決定しました。2年間の事業の集大成として、どの地域にもこの仕組みを広げてもらいたいという気持ちから本冊子「ピアサポート交流会のつくり方」を制作する運びとなりました。



「ピアサポート交流会のつくり方」の使い方・利用シーン

「ピアサポート」に関心がある方、これから地域で「ピアサポート」を始めたいと思っている方は、開催までの道筋、検討事項を本冊子より活用いただけます。行政、当事者それぞれが単体で動くのではなく、協働することのメリットや、ピアスタッフ側の心の内をサポートするヒントも有効です。関係各所に協働する必要性を訴えるツールにもお使いいただけると思います。重症心身障害児や医療的ケア児だけではなく、発達障害、精神障害、多胎児、ひとり親、ひきこもりなど社会的に困難を抱えるすべての人々のサポートに活用いただける1冊です。



【「ピアサポート交流会のつくり方」概要】

価格：無料(送料は希望者負担)

配布方法：30冊未満ご希望の場合 特定非営利活動法人みかんぐみへお申し込み

30冊以上ご希望の場合 杉並区高井戸保健センターへお問い合わせ

※冊数に寄らず、杉並区各保健センターでも配布いたします。



・特定非営利活動法人みかんぐみお申込みフォーム

<https://forms.gle/nyL2HVN9kYRrSap8>

・杉並区高井戸保健センター

TEL: 03-3334-4304 (午前8時30分から午後5時・土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29から1/3)除く)

特定非営利活動法人みかんぐみについて

重症心身障害や医療的ケアのある子を育てる親の会としてスタートし、2018年にNPO法人格を取得。どんな障害があっても、「自分の意思」に基づき地域・社会の中で生きていくことができる場所や関係性を創ることを理念として掲げ、杉並区を中心に活動中。

親子で楽しめるイベントの企画運営、当事者の声を活かした出版物の発行、家族の就労支援など活動は多岐に渡る。



【法人概要】

法人名：特定非営利活動法人みかんぐみ

所在地：東京都杉並区高井戸東 2-5-25

代表者：村 一浩

設立：2018年5月

URL：<https://mikangumi.com/>

事業内容：

障害児者(医療的ケア児者を含む)とその家族のための

1. コミュニティ創出事業
2. 情報発信事業
3. 就労支援事業
4. 教育、医療、福祉に関する情報交換およびネットワーク構築事業 等

【お客様からのお問い合わせ先】

特定非営利活動法人みかんぐみ

e-mail：info@mikangumi.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】

特定非営利活動法人みかんぐみ/ 荻野

e-mail：info@mikangumi.com